

ウムチョ ムゥイーザ通信

No. 10

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

**ルワンダの教育を考える会の出発点****理事長 高橋 啓子**

ルワンダ共和国全権大使が来福され、佐藤福島県知事様との面談が、7月1日午後4時から10分間とのスケジュールに、ルイズさんと一緒に私もお供させていただきました。

大使は、愛・地球博からの帰りに、福島まで足を延ばされたのです。ルワンダのキガリ市長とカチル区長もご一緒される予定が変更になり、ルイズさんはがっかりされていました。

エミール・ルワマシラボ大使は、この4月に着任された、身長180cmを超える立派な方。愛・地球博を訪れられたばかりでの知事との好意あふれる会談は、10分間の予定を超え、ルイズさんが県の技術研修生として来日された出発点、当時の文化学園での研修にまで振り返る、貴重な時間オーバーの心温まる面談となり、感謝申し上げます。

当時の出会いが出発点で、その後、帰国された母国ルワンダのその当時の国内事情による内紛からの混乱を脱出したルイズさん一家の救出にいたり、今では、『特定非営利活動法人 ルワンダの教育を考える会』にまでなり、多くの皆様の善意あふれる行動の輪が広がり、今日に至る顛末を最初から関わり見守ってきた当事者の一人として、今更乍ら熱く感謝申し上げます次第でございます。ありがとうございました。

**2004年度 決算報告**

(円)

2005年4月24日(日)に、平成17年度総会が、開催されました。

ここに、2004年度の決算を報告いたします。

今後とも、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

収入		
会費		675,000
事業収入		2,143,616
寄付金等		4,712,661
助成金等		10,075,554
その他		2,010
前期繰越金		739,509
収入合計		18,348,350

支出		
事業支出		
・国内事業		654,634
・教育支援事業		5,095,150
管理費		2,399,726
支出合計		8,149,510

次期繰越金	10,198,840
-------	------------





4月から、ルワンダに滞在している和喜田弥生さんから届いた第一報です。

これからも、たびたび、ルワンダの様子が届けられます。

お楽しみに！



【学校編】

5年前のウムチヨムウイーザ学園は、基礎工事の土台だけで、学校の「ガ」の字にもなっていないが、あの面影はどこにもなく、学校として機能していて、超～驚き。まったく別の場所へ来たのかと思った。周囲の家も全く違い、豪華な家が建ち並んでいる。いつの間にか、金持ち集団の居住区になったような気がした。

児童達は活気にあふれ、学ぶ喜びを体全体で表現しているのがとても印象的だった。そして何よりも「おはようございます」「こんにちは」と挨拶してくれたのは、とても感動だった。朝礼では、縦列に整列し、さながら日本の「前へならへ」を実践していて、これまた感動だった。「私も私も」というルワンダにおいては、規準を重んじることはとても重要な教育の一つだと思った。

朝の通勤、通学ラッシュはどここの国も同じ。学校へ行くまでにゲットするのが大変。バイクタクシーをゲットできたのだが、凸凹道のタンデム（二人乗り）は、まるでモトクロスのよう。時々跳ね上がり、しっかり捕まってないと落ちそうになるので、皆様もルワンダに来られた際、バイクタクシーに乗る際は、タンデム経験がある方でないと厳しいかも？…ちなみに私は中型自動二輪の免許を持っているし、タンデムの経験もあります。

【事務所編】

4月15日、現地事務所を無事オープンさせました。とは言っても、机と椅子があるだけのオフィスですが、なんとか機能させるよう努めて参ります。まだ、アシスタントを雇用していないので、1人でパソコンと伝票と向いあっていますが、まあぼちぼちやっていきます。

インターネットカフェは、キガリ市内に行かないとできず、これが、また、一苦勞。近くのカフェではなぜか接続できない。キガリまで、ぎゅーぎゅー詰めバスタクシーに乗って辿り着くも、停電のため使えなかったり、やっとバスタクシーが出発し（満員にならないと出発しないので、30～40分は待たなければならぬ）、最寄りのタクシー乗り場にやっと辿り着いたのに、豪雨のため足止めだったり。殆ど半日かかりでメール通信ができるのだ。雨季が過ぎれば、もっと、スムーズに行くかも！？

事務所兼住居は、キガリ空港から徒歩5分くらいの所なので、いつでも空港へお迎えに行けますよ！



5月になり、事務所スタッフも決まりました。
(中央：和喜田さん 右：ボナさん[ルイズの兄])

【生活編】

5年ぶりのルワンダの風と香りは、懐かしさで胸が熱くなった。ナイロビの乗り換えで感じた風と香りも同じで、アフリカの風と香りは、私の体に、なぜか郷愁を感じさせる。そして、不思議なことに、どこに行っても、何をやっても「昔にもこんなことがあった、こんな事した」と感じる事がとっても多いこと。やっぱりルワンダに来る運命だったんだろうかと思ってしまう。



最初の一週間は、ルイズのお兄さんのボナさん宅でお世話になったのだが、ボナさん宅には、水道がないので、久しぶりのタライの生活は慣れるのに少々時間を要した。コップ一杯の水の有難さを痛感し、顔を洗うときもまるで猫になったような気分だった。

ある日、キガリ市内で、ある8歳くらいの男の子に出会った。その子は、頭に大きな水タンクを乗せていたにも拘わらず、片手を離し、私に笑顔で手を振りながら去っていったのだが、その後ろ姿は、ズボンの股が裂け、お尻が丸見えだった。あの子の後ろ姿を思い出すたびに涙が溢れてしまう。誰が彼に手を差伸べるのだろうか。

引っ越してからは、水道のある生活なのでとっても楽。時々、断水と停電はするけれど、長時間じゃないため、安心して夜なべができる環境。ゲスト用のお部屋もあるので、是非、皆さんいらして下さい！

あー、これがあつたら : サランラップ、医薬品 (かゆみ止め)、下敷き、ものさし (長め)、
いいなと思った物 テープ (ガムテープ)、アロンアルファ、釘、カナヅチ、10 得ナイフ

あつて良かったと : 糊、携帯用ポット、はさみ、目覚まし時計、ビニール製手提げ袋、
思った物 折畳み傘、長袖ジャケット、電卓、ラジオ

皆さんもルワンダに来られる際は、ご参照くださいませ。

ひとまずルワンダ現地事務所からの報告でした！

～ 2005年04月の報告 ～



アフリカンフェスタ2005

5月21日 (土)・22日 (日) の両日、東京の日比谷公園で、「アフリカンフェスタ2005」が開催されました。

第1日目が盛況で、第2日目、追加商品を届けに、急きよ、親子でアフリカの音楽が流れる会場に向かいました。

時間が経過するにつれ、公園内にはお客さんが溢れるほどで、ビックリ！アフリカ人も日本人もその他の外国人もです。

ちょっと雨が落ちたかな？というくらいで、天候にも恵まれ、ブースの中は、結構暑かったです。翌日のテレビで、「東京では、アブラムシが大量発生で…」と流れていましたが、確かに、何か小さなムシが空中を漂っていました。



いろいろな楽器が、
いっぱいあったよ！
ホイッスルと横笛を
ゲット！！

うちの息子は、一人で勝手に、
会場内をまわっていました。
お手伝いは、どうしたの？
楽しい体験の旅でした。

阿部 明子



お知らせ



会
員
の
皆
様
へ

☆各種振替口座番号の御案内です！☆

会費振込・寄付

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

ルワンダ奨学金 … ルワンダの子供達を日本に受け入れるための奨学金です。
本年度は、マニラガバ・ジャン・ミッシェル君の学費として役立てます。

郵便振替口座：02260-2-98155

加入者名：ルワンダ奨学金

ソーラー発電 … 近い将来、教室にソーラー発電機をつけ、電力の確保をしたいと考えています。そのための基金です。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P

事務局では、各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集します！（イベント開催時の半日でもOKです。）
よろしくお願いいたします。

HELP



◇ 会費は下記へお願いします ◇

正会員 1口 5,000円

賛助会員 1口 10,000円

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

※先日、「カンベンガ・マリールイズさんが有限会社を設立しました。」との報道がありました。これは、ルイズの個人的な事業であり、当会とは関係ありません。

いつものまにか、「夏」です。今年も、ルイズ達が、ルワンダを訪れます。世界中、どこであつても、日々、変化する日常ですが、今年もまた、ルワンダの様子を写真で報告できることと思ひます。
今年の夏の、我が息子のマイブームは、「レモン水」のようです。みなさんは、どうでしょうか？

編集後記



ルワンダの教育を考える会

理事長 高橋 啓子
副理事長 カンベンガ・マリールイズ

〒960-8252 福島県福島市御山字中川原44-2
サンコーポ1号棟 102号室
TEL/FAX：024-533-8289
ホームページ：<http://www.rwanda-npo.org/>
e-mail：info@rwanda-npo.org